
**2026年3月期
決算説明会
(2025年4月～2026年3月)**

A large Rohto logo is centered on the page. It features the word "Rohto" in a blue, sans-serif font, with a red curved line underneath the letters "o" and "h" that resembles a smile. The background of the slide has a blue gradient with a curved line separating the top white area from the bottom blue area.

0 1 : 2026年3月期 連結決算の概要

0 2 : 2027年3月期 業績予想

0 3 : 中長期経営成長戦略 進捗

0 4 : Appendix

2026年3月期 連結決算の概要 (2025年4月～2026年3月)



副社長 兼 CFO 齐藤 雅也

全地域で増収。特にアジア・欧州が牽引し、2桁大幅増収 原価率の上昇に加え、販管費が増加したものの、営業利益は増益に 営業外収益の増加により経常利益以下は大幅増益に

売上高:343,725百万円 対前11.4%増、通期予想を上回る着地

- 日本:サプリメントの「ロートV5」、新製品が好調なリップクリーム、「肌ラボ」、ヘアケアの「Gyutto」や目薬等が好調に推移
子会社のロートニッテンや天藤製薬が増収に寄与
- アジア:ベトナム、インドネシアなどの東南アジアが引き続き好調に推移
輸入ライセンスを取得できた事により生産可能となったミャンマーが増収に貢献
ユーヤンサン・インターナショナル社(EYS)が連結効果で売上に寄与
- アメリカ:医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社(ハイドロックス社)が引き続き好調に推移
ブラジルの連結子会社も増収に貢献
- ヨーロッパ:ポーランドのダクス・コスメティクス社(DAX社)が好調に推移。目薬も順調に推移
モノ社が連結効果で売上に寄与

営業利益:41,118百万円 対前7.5%増、通期予想を上回る着地

- アジアが大幅な増益

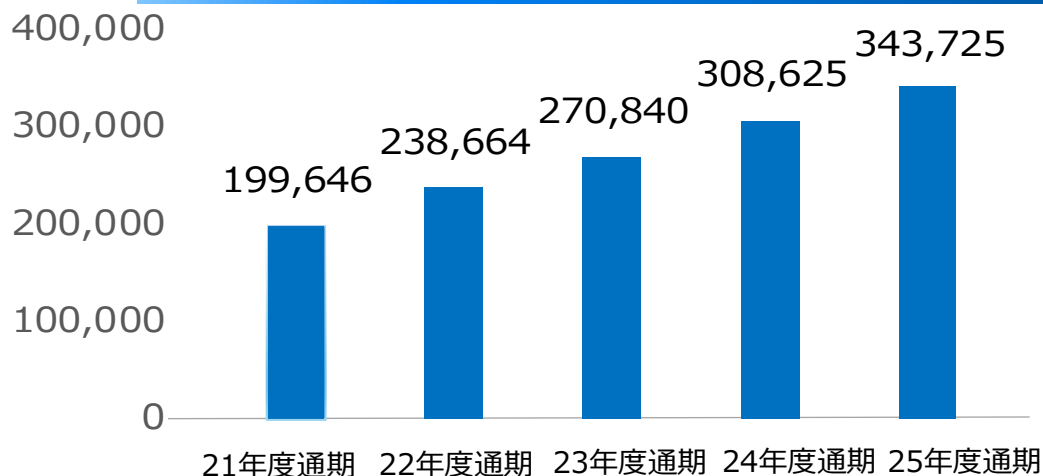
期末配当予想を2月12日公表値から更に2円増額し25円にし年間46円、配当性向30.4%・DOE3.7%に22期連続増配

連結業績の推移

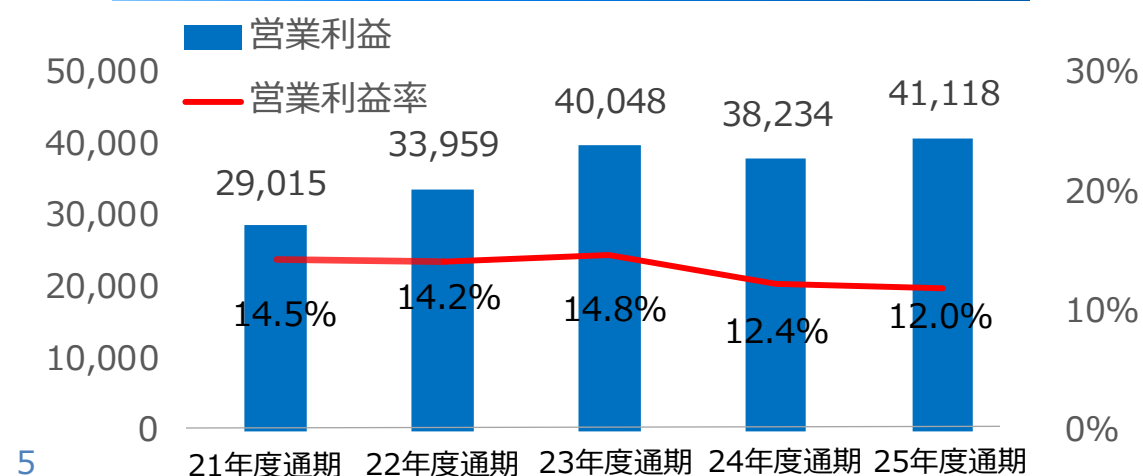
2025年度 売上高3,437億円、営業利益411億円の過去最高を更新

	23年度通期	24年度通期	25年度通期	25年度公表値
売上高 (百万円)	270,840	308,625	343,725	340,500
営業利益 (百万円)	40,048	38,234	41,118	40,500
営業利益率	14.8%	12.4%	12.0%	11.9%
EBITDA (百万円)	48,736	51,536	58,496	57,800
EBITDAマージン	18.0%	16.7%	17.0%	17.0%
ROE (%)	13.6%	12.1%	12.1%	—

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



連結損益



(百万円)	2024年度		2025年度			2025年度		
	Q1-Q4 金額	Q4のみ 金額	金額	売上比	対前年(%)	金額	売上比	対前年(%)
売上高	308,625	82,730	343,725	100.0	11.4	90,654	100.0	9.6
売上総利益	174,393	45,624	192,695	56.1	10.5	50,377	55.6	10.4
販管費	136,158	39,350	151,576	44.1	11.3	42,834	47.3	8.9
販促費	18,282	5,524	21,660	6.3	18.5	6,375	7.0	15.4
広告費	39,224	11,517	40,942	11.9	4.4	13,052	14.4	13.3
研究開発費	14,912	3,238	13,727	4.0	▲8.0	3,937	4.3	21.6
その他	63,738	19,069	75,247	21.9	18.1	19,468	21.5	2.1
営業利益	38,234	6,274	41,118	12.0	7.5	7,543	8.3	20.2
経常利益	39,725	6,649	47,971	14.0	20.8	8,119	9.0	22.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	30,841	6,096	34,247	10.0	11.0	5,968	6.6	▲2.1
EBITDA	51,536	10,998	58,496	17.0	13.5	12,211	13.5	11.0

- ・為替レート：
USドル149.99円（前期152.61円）△1.7%
中国元20.82円（前期21.02円）△1.0%
- ・為替の影響：
売上△3.1億円、営業利益+2.9億円の影響
- ・全地域で増収達成により大幅増収
- ・EYS：
のれん償却15.8億円
商標権/その他無形固定資産の償却費9.1億円
- ・原価率：
0.4ポイント上昇
(天藤製薬、ロートニッテン、英国、
クオリテックファーマ (QTP) の影響大)
- ・EYS、モノ社取得による減価償却費増と
人件費増により販管費が増加
- ・R&D費は減少
- ・受取配当金の計上により営業外収益増加

2桁大幅増収

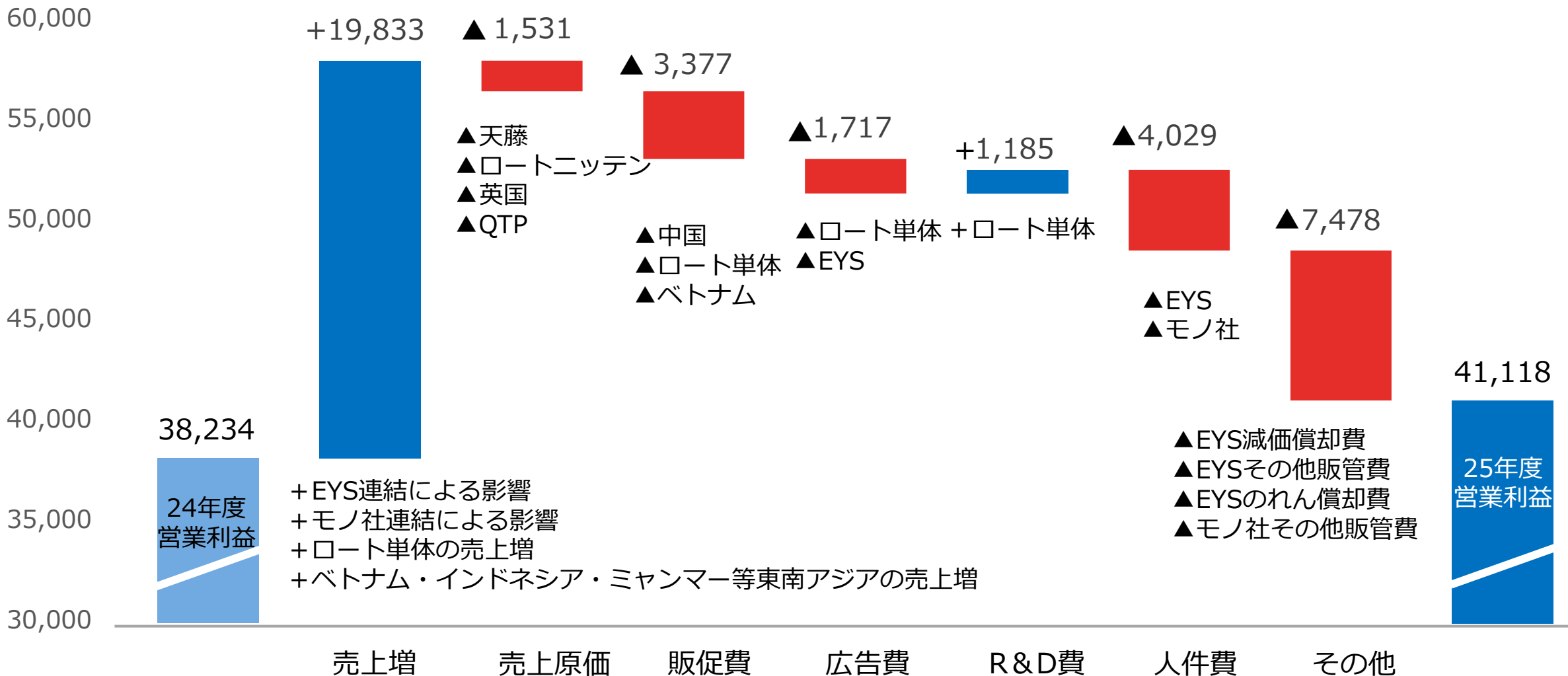
原価率の上昇に加え販管費が増加したものの、大幅増収により営業利益が増益

売上・営業利益共に公表値を上回る

営業外収益の増加により経常利益、当期純利益ともに大幅増益

営業利益増減の要因（前年同期比較）

単位：百万円



セグメント別売上マトリックス

	日本		アジア		アメリカ		ヨーロッパ		その他		海外計		合計	
	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率
	アイケア	25,537	5.5	16,071	13.1	3,116	8.6	497	95.1	159	-	19,844	14.5	45,381
スキンケア	91,506	3.0	71,814	9.3	13,574	4.9	16,882	6.8	3,145	7.1	105,417	8.3	196,923	5.8
内服・食品	22,801	▲2.3	31,086	94.6	29	3.1	101	▲4.2	323	▲24.6	31,541	90.7	54,342	36.3
メディカル	27,353	3.4	4,013	53.6	4,208	2.4	2,502	143.9	0	-	10,724	38.4	38,078	11.4
その他	2,127	▲2.7	2,341	25.3	624	▲23.3	3,905	97.7	0	-	6,870	47.5	8,998	31.4
合計	169,326	2.6	125,327	24.9	21,553	3.8	23,889	24.7	3,628	7.8	174,399	21.4	343,725	11.4
通期予想	169,600	2.8	122,200	21.8	21,200	2.1	24,000	25.2	3,500	4.0	170,900	19.0	340,500	10.3
達成率(%)	99.8		102.6		101.7		99.5		103.7		102.0		100.9	

【日本】

- ・アイケア増収：花粉目薬や高額目薬、若者用目薬、コンタクト用剤が増収
- ・スキンケア増収：肌ラボ、リップクリーム、Gyutto、ケアセラが増収
- ・内服・食品減収：ロートV5は二桁増収
エピステームドリンクが減収
- ・メディカル減収：ロートニッテン、天藤製薬が増収、QTP減収

【アジア】

- ・アイケア増収：ミャンマー・ベトナム・インドネシアの増収
- ・スキンケア増収：インドネシア・ミャンマー・マレーシア・中国の増収
- ・内服・食品増収：EYS連結効果
- ・メディカル増収：EYS連結効果

【アメリカ】

- ・アイケア増収：目薬が増収
- ・スキンケア増収：ハイドロックス社の増収、ブラジルのハダラボの増収
- ・メディカル増収：オフサルモス社の増収

【ヨーロッパ】

- ・アイケア増収：UKで中東向製品の増収
- ・スキンケア増収：Hadalabo Tokyo等好調なDAX社増収
- ・メディカル増収：モノ社の連結効果
- ・その他増収：モノ社の連結効果

セグメント別営業利益

(百万円)	2024年度 Q4	構成比 (%)	2025年度 Q4	構成比 (%)	前期比 (%)	予算	達成率 (%)
日本	22,453	58.7	22,126	53.8	▲1.5	22,500	98.3
アジア	11,595	30.3	15,048	36.6	29.8	14,200	106.0
アメリカ	1,542	4.0	1,705	4.1	10.6	1,600	106.6
ヨーロッパ	1,414	3.7	1,007	2.4	▲28.8	1,100	91.6
その他	354	0.9	383	0.9	8.3	300	127.9
調整額	874	2.3	846	2.1	▲3.2	800	105.8
合計	38,234	100.0	41,118	100.0	7.5	40,500	101.5

売上高：1,693億26百万円 **前期比 +2.6%**
営業利益：221億26百万円 **同 ▲1.5%**

売上高1,693.26億円：ほぼ計画どおり、ロート単体 前期比+3.1%

- 花粉目薬、コンタクト用剤、高額目薬、若者用目薬などアイケアが好調
- サプリメントの「ロートV5」、リップクリーム、「肌ラボ」、「ヘアマスク「Gyutto」」、「ケアセラ」等が好調に推移
- インバウンド需要過去最高を更新
- ロート単体だけでなく、ロートニッテン（前期比+1桁後半%）、天藤製薬（前期比+2桁%）も増収に寄与
- QTP（前期比△1桁半ば%）は選定療養制度の影響を受けた先発医薬品や販売不調のOTC医薬品の受注減により減収

営業利益：221.26億円：ほぼ計画どおり、ロート単体 前期比+2.4%

- ロート単体の原価率は改善するも、QTP、ロートニッテン、天藤製薬など子会社の原価率が上昇
- 天藤製薬（前期比+2桁%）は増益、QTP（前期比△2桁%）とロートニッテン（前期比△2桁%）は減益



ロートV5 目×睡眠Wケアも人気
「第12回健康医療アワード」受賞



新色も大人気のプランパーリップ



肌質や好みの使用感で「肌ラボ」を選べる事をPR
2026年4月出荷分より全品値上げ実施



「Gyutto」数々の賞を受賞！
質感整形ヘアマスク

アジア 大幅な増収増益

売上高： 1,253億27百万円 前期比+24.9%
 営業利益： 150億48百万円 同 +29.8%

売上高1,253.27億円：計画を上回る着地（為替の影響：▲6.1億円）

- ベトナム、インドネシアなど東南アジアが好調を継続
- 2Qよりミャンマーで輸入ライセンスを取得できた事で生産が可能となり増収に貢献
- 香港、中国の市況は依然として低調なものの増収を確保
- EYSが連結効果で売上に寄与するもシンガポール・香港市場減速の影響を受ける
EYS売上：現地通貨ベース対前1桁半ば%減収（7月-12月での比較）
- 「肌ラボ」、「アクネス」、フケ抑制シャンプー「セルサン」、目薬等が好調に推移

営業利益150.48億円：計画を上回る着地（為替の影響：+2.9億円）

- EYSのれん償却（15.8億円）、商標権/その他無形固定資産の償却費（9.1億円）
EYS営業利益：現地通貨ベース対前1桁後半%増益（7月-12月での比較）のれん等償却後も黒字確保
- ミャンマー、インドネシア、マレーシア、香港等の増収が寄与して計画を上回る増益

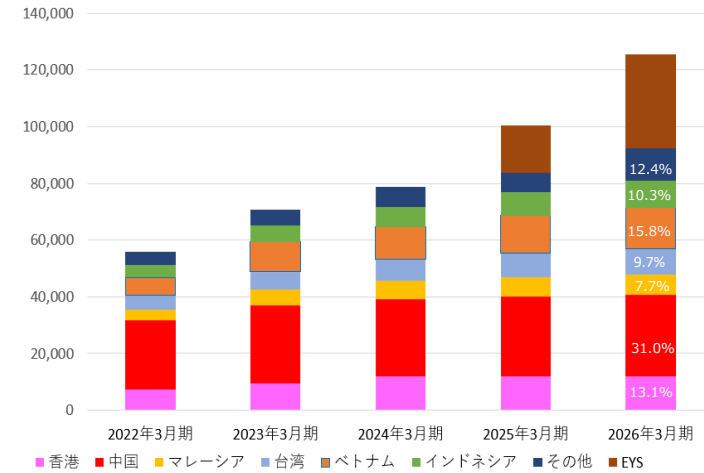


ベトナムでは「肌ラボ」発売15周年キャンペーンを行い新規ユーザーの獲得に成功。
 インドネシアでは洗顔料市場拡大の波にのり、大幅増収



ミャンマーでは目薬やアクネスの輸入・販売が再開された事を受け、SNS等で「Back in Stock」と既存ファンへの情報発信に注力

アジアの国別売上構成比（EYS除く）



※2025年まではマレーシアにシンガポールを含む



中国ではセルサンプロを発売する等 製品ライン拡大とオムニチャネル開発で高成長

売上高：215億53百万円
営業利益：17億05百万円

前期比 +3.8%
同 +10.6%

売上高215.53億円：計画を上回る着地（為替の影響：▲5.0億円）

- 目薬が好調に推移
- 医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス社が好調を継続
- ブラジルのオフサルモス社の眼科向製品やメンソレータムブラジルも「肌ラボ」等スキンケアが好調で増収に寄与
- ハイドロックス社、オフサルモス社、メンソレータムブラジル：2桁%増収（現地通貨ベース）

営業利益17.05億円：計画を上回る着地（為替の影響：▲0.5億円）

- 増収効果と原価率の改善により大幅な増益に
- ハイドロックス社：横ばい、オフサルモス社：2桁%増益（現地通貨ベース）



ハイドロックス社の医療機関向け消毒剤



「肌ラボ」はブラジルオンラインストア「Mercado Livre」に公式ストアを開設。デジタルメディアを活用し高成長を継続

ヨーロッパ 大幅な増収・減益

売上高：238億89百万円 前期比 +24.7%
営業利益：10億07百万円 同 ▲28.8%

売上高238.89億円：ほぼ計画通り（為替の影響：+8.5億円）

- 「Hadalabo Tokyo」や「YOSKINE」が好調なDAX社が引き続き増収に貢献
- 「ロートドライエイド」ブランドが順調に推移
- モノ社が連結効果で増収に寄与
- DAX社：2桁%増収（現地通貨ベース）

営業利益10.07億円：計画未達（為替の影響：+0.5億円）

- 英国において消炎鎮痛剤の容器供給業者の倒産による生産量低下と代替業者の単価上昇による原価率の上昇に加え、販管費が増加し減益
- DAX社：2桁%増益（現地通貨ベース）



「ロートドライエイド」が順調に推移



DAX社「YOSKINE」:ロートと共同研究した『陰陽テクノロジー』をコンセプトにしたスキンケアライン。セルビア、スロベニア、ハンガリーで新発売。



「Hadalabo Tokyo」は英国、ポーランドやトルコ、スペイン等に加えて新たにデンマークとベルギーで発売し、域内での高成長を継続

**2027年3月期
業績予想
(2026年4月～2027年3月)**

A large Rohto logo is centered on the page. It features the word "Rohto" in a bold, blue, sans-serif font, with a red curved line underneath the letters "o" and "h" that resembles a smile. The background of the slide features a blue gradient with a curved line at the bottom.

- 市場環境は国内外ともに持ち直しの動きが見られるものの、インフレによるコスト負担の増加や消費者の節約志向、さらに地政学リスクに起因する不確実性など、先行きは依然として不透明な状況が続くものと想定。為替変動や金融政策の影響も引き続き注視すべき要因となっており、事業環境は総じて変動性の高い局面が続く見込み
- 中東情勢に起因する原油高等の影響は、状況が刻々と変わる中、現時点で把握可能な範囲で織り込み済み
- 2027年3月期も**売上、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新**予想
- 東南アジアを中心としたアジア、ヨーロッパで2桁増の大幅な増収を見込む
- 日本
 - ✓インバウンド需要は不確実であるものの国内消費は手堅く推移と見込む
 - ✓コア事業が引き続き成長予定
 - ✓ロート単体、天藤製薬、QTPが増収に貢献予定
- 海外
 - ✓円安の進行
 - ✓ベトナム・インドネシア等 東南アジアが引き続き成長を牽引予定
 - ✓EYSも成長し のれん等償却後も増益予定
 - ✓ヨーロッパはモノ社、英国が成長し貢献予定
- 年間配当を4円増配し23期連続増配予定、配当性向32.7%を予定

業績予想

- 売上高、営業利益、当期純利益は過去最高を更新予想
- 売上高：+257億円、営業利益：+26億円、経常利益：▲18億円、純利益：+2億円
- 為替予想：1ドル155円、1元22円の円安予想
- 為替の影響（対前年）：売上+83億円、営業利益+9億円
- EBITDAマージン 16.9%予定

(百万円)	2025年度		2024年度		2026年度通期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	対前年 (%)	対前増減額
売上高	343,725	100.0	308,625	100.0	369,500	100.0	7.5	25,774
営業利益	41,118	12.0	38,234	12.4	43,800	11.9	6.5	2,681
経常利益	47,971	14.0	39,725	12.9	46,100	12.5	▲3.9	▲1,871
親会社株主に帰属する 当期純利益	34,247	10.0	30,841	10.0	34,500	9.3	0.7	252
EBITDA	58,496	17.0	51,536	16.7	62,552	16.9	6.9	4,056
1株当たり当期純利益	151.56		135.38				152.68	
為替 (ドル/円)	149.99		152.61				155.00	
為替 (元/円)	20.82		21.02				22.00	

※2024年度の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、EBITDAは、2025年度Q1において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映した遡及修正後の数値で算出

セグメント別売上予想

- 日本はインバウンド需要は不確実であるものの国内消費は手堅くコア事業が引き続き成長予定
ロート単体、天藤製薬、QTPが増収に貢献予定
- 為替の影響（対前年）：アジア+60億円、アメリカ+7億円、ヨーロッパ+9億円、その他+4億円
- アジアは東南アジア中心に中国・香港・EYSが増収に寄与し大幅増収予定
- ヨーロッパが消炎鎮痛剤の出荷復調、モノ社・DAX社の好調持続により大幅増収予定

(百万円)	2025年度		2024年度		2026年度通期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	対前年 (%)	対前増減
売上高	343,725	100.0	308,625	100.0	369,500	100.0	7.5	25,774
日本	169,326	49.3	164,988	53.5	174,300	47.2	2.9	4,973
アジア	125,327	36.5	100,336	32.5	141,500	38.3	12.9	16,172
アメリカ	21,553	6.3	20,769	6.7	21,800	5.9	1.1	246
ヨーロッパ	23,889	7.0	19,163	6.2	27,700	7.5	16.0	3,810
その他	3,628	1.1	3,366	1.1	4,200	1.1	15.7	571
為替 (ドル/円)	149.99		152.61		155.00			
為替 (元/円)	20.82		21.02		22.00			

セグメント別営業利益予想



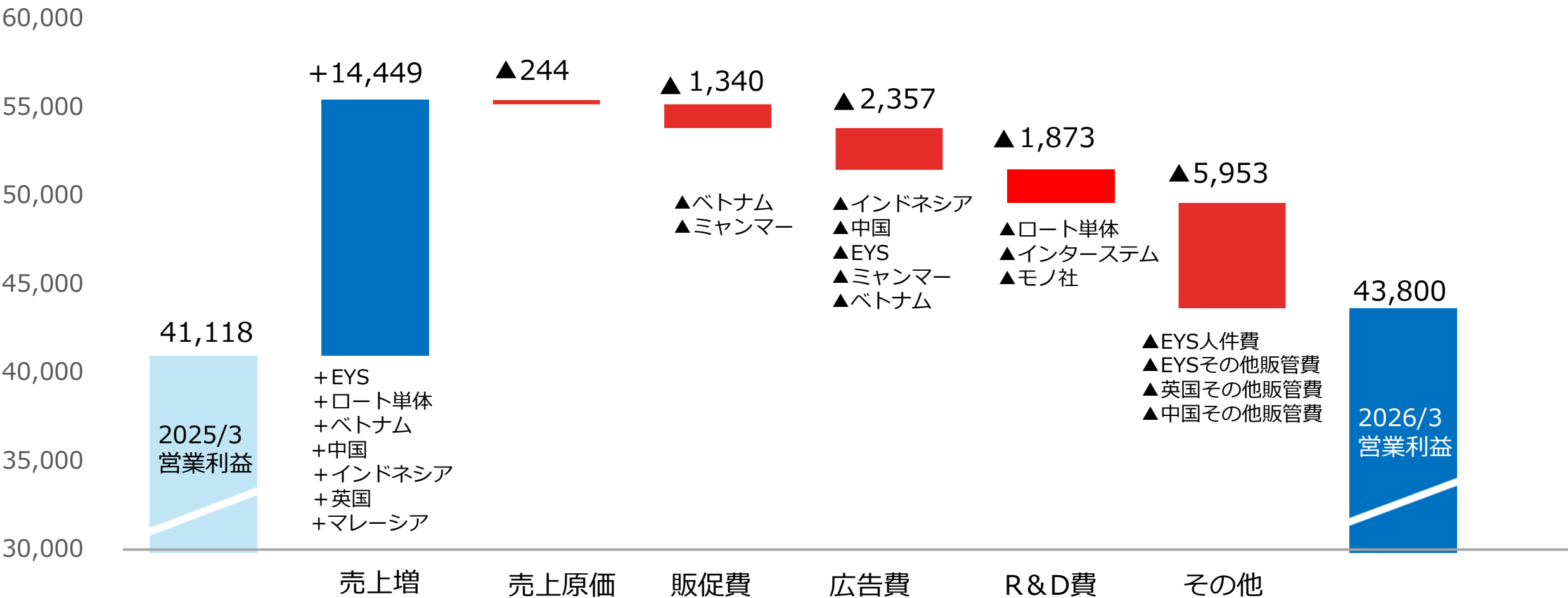
- 日本はロート単体と子会社が貢献し増益を確保予定
- 為替の影響（対前年）：アジア+8億円、アメリカ△0億円、ヨーロッパ+0億円、その他+0億円
- アジアはインドネシアをはじめ東南アジアが好調に推移し、EYSも増益に貢献し大幅増益予定
- アメリカはメンソレータム社の減収に加え、販管費の増加により減益予定
- ヨーロッパは消炎鎮痛剤の出荷復調、DAX社の好調持続により増収効果で大幅な増益予定

(百万円)	2025年度		2024年度		2026年度通期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	対前年 (%)	対前増減
営業利益	41,118	100.0	38,234	100.0	43,800	100.0	6.5	2,681
日本	22,126	53.8	22,453	58.7	22,900	52.3	3.5	773
アジア	15,048	36.6	11,595	30.3	16,700	38.1	11.0	1,651
アメリカ	1,705	4.1	1,542	4.0	1,400	3.2	▲17.9	▲305
ヨーロッパ	1,007	2.4	1,414	3.7	1,400	3.2	39.0	392
その他	383	0.9	354	0.9	500	1.1	30.3	116
調整額	846	2.1	874	2.3	900	2.1	6.3	53
為替 (ドル/円)	149.99		152.61					155.00
為替 (元/円)	20.82		21.02					22.00

※2024年度の営業利益は、2025年度Q1において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映した遡及修正後の数値で算出

2026年度 営業利益増減の要因見通し

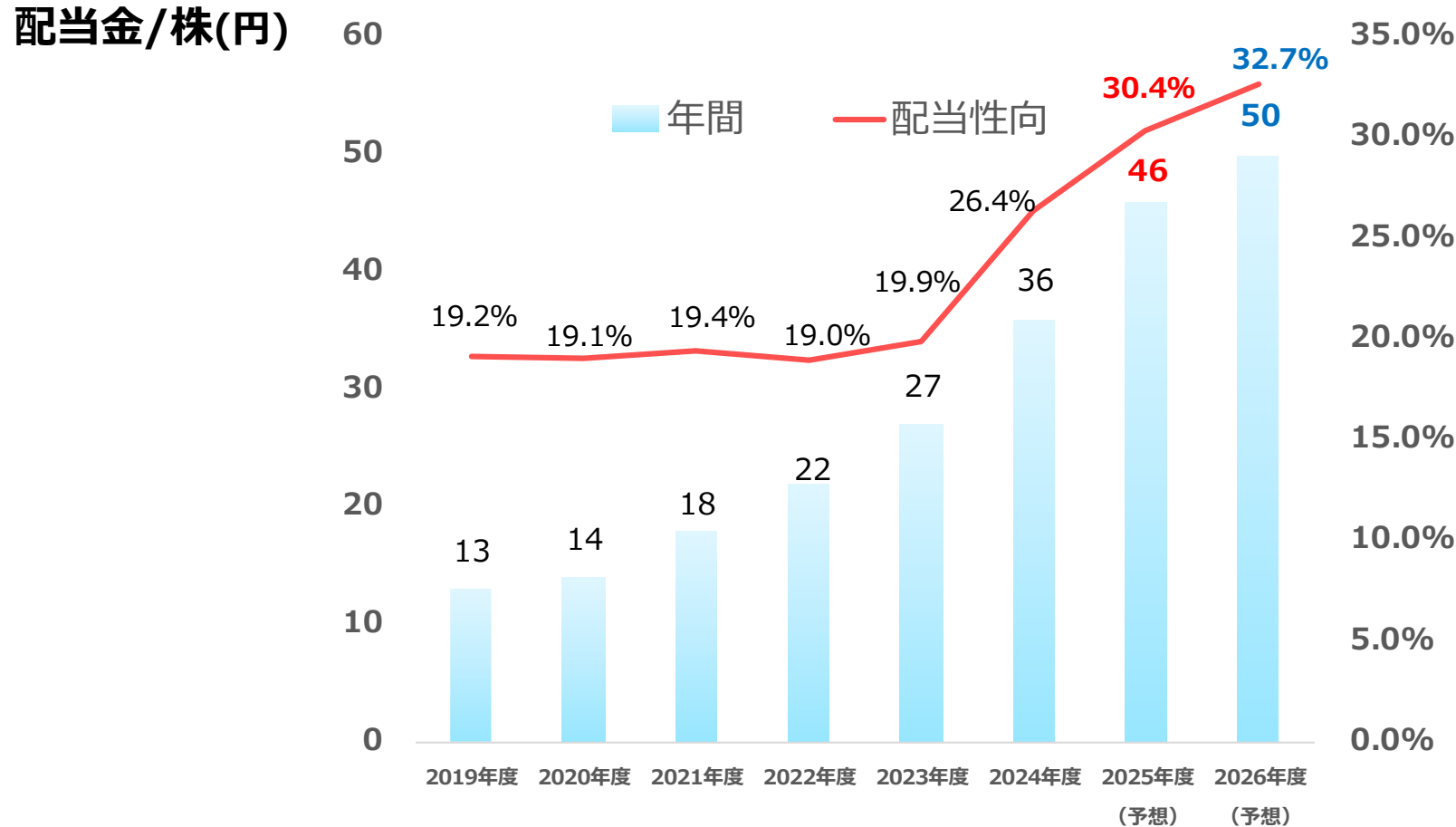
単位：百万円



株主還元（23期連続増配予定）

中間配当25円、期末配当25円 年間50円、配当性向32.7%に増配予定

【株主還元方針】 一時的な利益の変動に左右されず、継続的安定的に増配をおこなう



配当性向

30%以上

DOE

3.5%以上

中長期成長戦略 進捗状況について



代表取締役社長

瀬木 英俊

ロートサイエンスを進化させ、**セルフケアのコア事業の収益最大化**
プロフェッショナルケアへの基盤を構築し、Well-beingの輪を広げる

コア事業

コア事業のグローバル展開
新分野への拡大



コア事業である
アイケア、スキンケアでの
確実な成長と収益の確保、
ヘアケアなどの新分野の確立

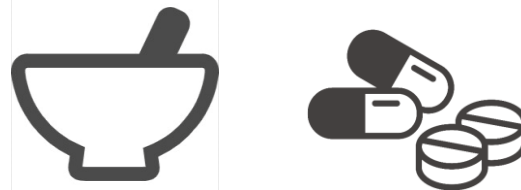


成長事業

技術商品力の
深化と拡充



フィットサイエンス素材を用いた
内服・食品事業での
売上・収益の成長拡大



未来への投資

メディカル事業の
基盤構築



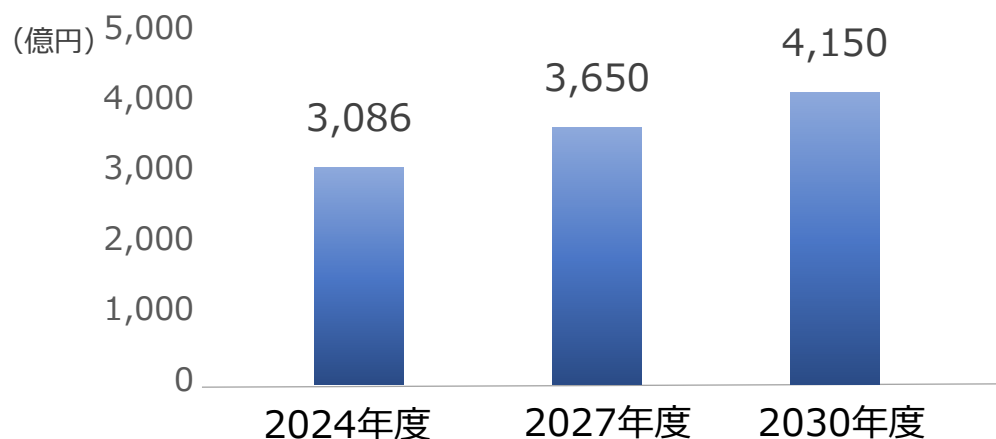
10年先の当社の事業を
けん引するメディカル領域
(眼科、皮膚科、整形・運動)
の基盤構築



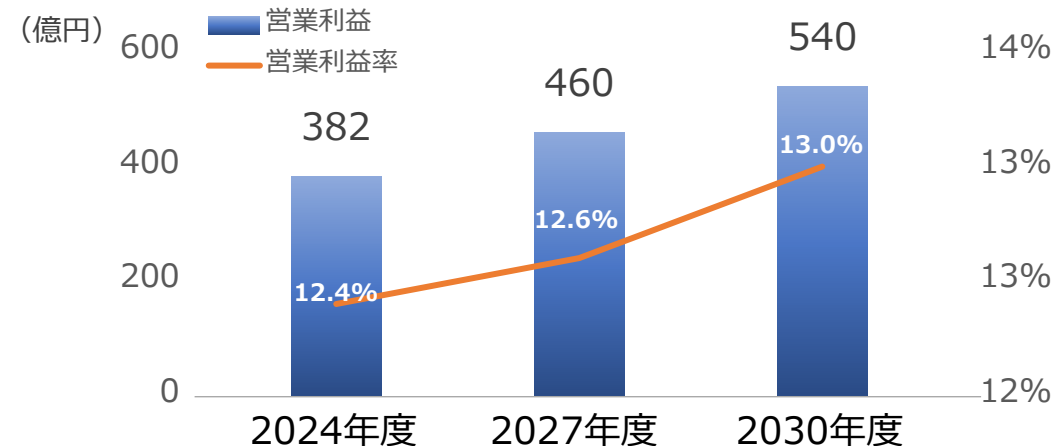
2030年度 売上高4,150億円 営業利益540億円

	2024年度	2027年度	2030年度
売上高	3,086億円	3,650億円	4,150億円
営業利益	382億円	460億円	540億円
営業利益率	12.4%	12.6%	13.0%
EBITDAマージン	16.7%	17.9%	18.2%
海外売上比率	47%	50%	53%

売上高

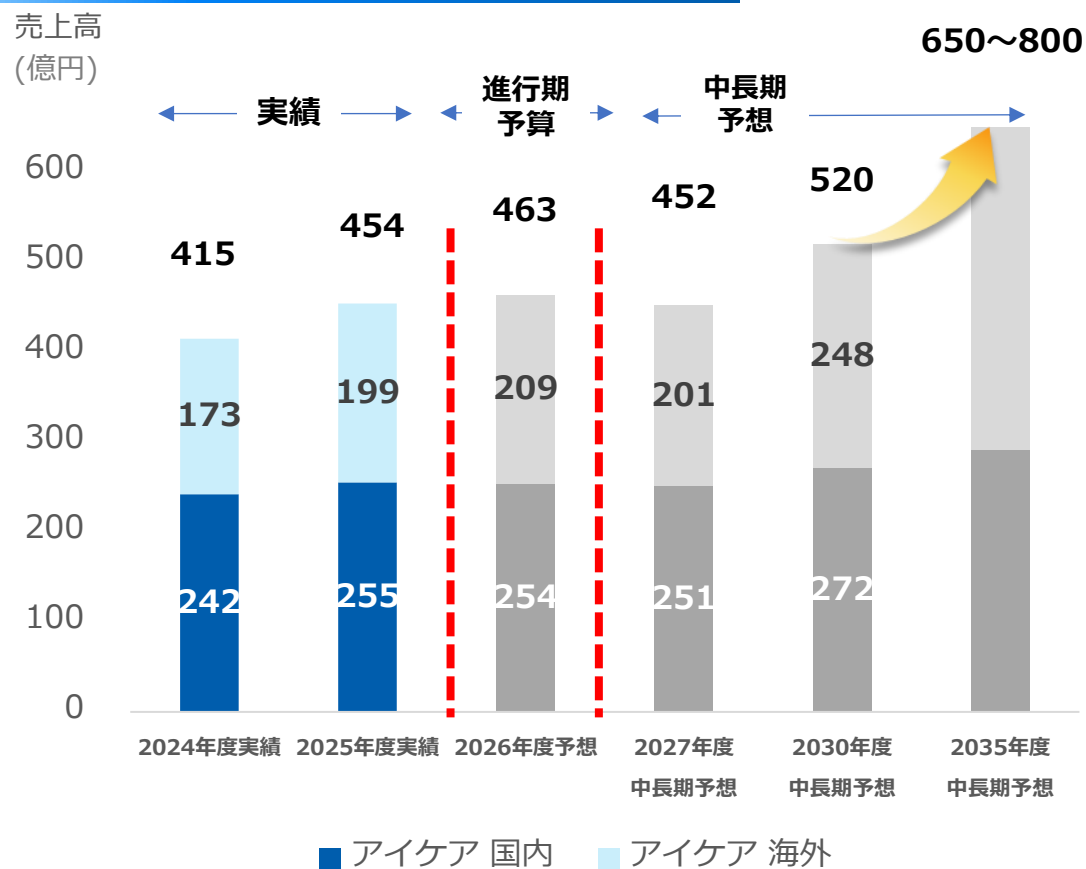


営業利益



2027年当初予想を2年前倒して達成

アイケア（医療用除く）

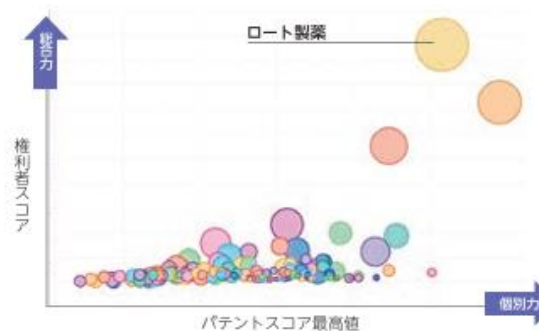


グローバルに広がる目薬の生産拠点



高いパテントスコア

眼科薬特許 円の大きさ：有効特許件数



118の国と地域で商標取得

世界目薬販売個数 No.1

出典：IQVIA Global OTC Insight2020年～2024年

※(株)パテント・リザルトの特許分析ツール「BizCruncher」を用いて当社にて作成。
 円の大きさが当該分野の有効特許件数を、横軸が各権利者の特許群の中で、
 最高値を有する特許1件のスコアを、縦軸が各権利者の特許群のスコアを合算した値を示す。
 2025年7月時点

日本国内でのOTCによる高付加価値市場の創造と 海外のアジア・ヨーロッパ市場での目薬ユーザーの拡大

国内

- OTCアイケアのマーケット拡充
 - ・ アレルギー、ドライアイなどのスイッチOTCや機能強化による高付加価値市場の創造
 - ・ アイケア啓蒙による新規ユーザーの拡大



海外

- タイ市場への参入
- セルビア市場への参入
- CEマーキングを活用してのケニア、オーストラリア市場でのドライエイドの拡大

アジア・タイへの参入



ロート目薬

オーストラリア

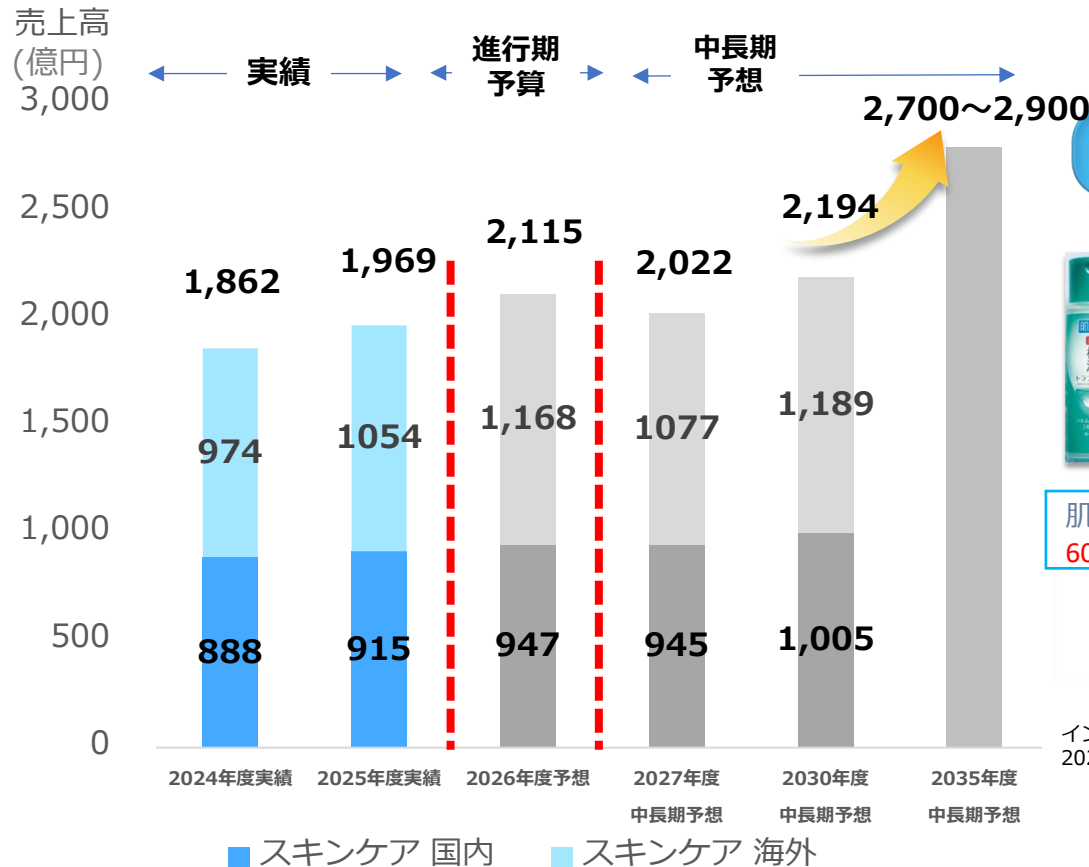


ロートドライエイド

スキンケア事業について

国内、海外共に、2027年当初予想を1年前倒しで達成可能性有

スキンケア



製薬品質の高い技術を基盤にした確かなブランド力

ブランド力

高いパテント力

・ヒアルロン酸
・ビタミンC
パテントスコア総合カ

No.1

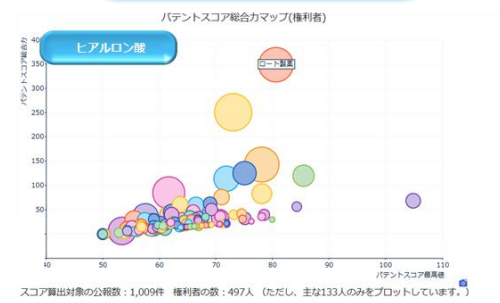
新しい研究の共創拠点
サイエンスハブ東京

肌ラボ展開国
60の国と地域

基礎化粧品
数量ランキング

No.1

インテージSRI 基礎化粧品計(4カテゴリー)
2025年4月~2026年3月累計販売数量シェア



(株)パテント・リザルトの特許分析ツール「BizCruncher」を用いて当社にて調査、作成。円の大きさが当該分野の有効特許件数を、横軸が各権利者の特許数の中で、最高値を有する特許1件のスコアを、縦軸が各権利者の特許数のスコアを合算した値を示す。2025年4月時点

カテゴリーの変更：2025年度よりメディカルスキンケア事業などの売上をメディカル事業へ変更しております

ロート独自の機能性スキンケア×細胞研究の融合 ケミカルとバイオの融合により、肌本来の美しさを最大化

ケミカル アプローチ

自社にR&D機能を有し、
機能成分の更なる有効性の追求

保湿、抗酸化、バリア機能を中心に
ケミカル成分での肌への効き目の追求

3つの戦略成分

肌本来の機能

抗酸化

保水

バリア

ロートの
機能性成分

ビタミンC

ヒアルロン酸

セラミド

バイオ アプローチ

幹細胞・再生医療の研究知見を用いた
肌細胞レベルで健康肌寿命を延ばす

肌のホメオスタシス、ロンジェビティに着目
バイオ発想での肌本来の力を引き出す研究

幹細胞・天然物の培養液技術の応用



肌ラボブランドの国内外での確実な成長に合わせて、ヘアケアについても国内でGyutto、海外でセルサンが伸長中

国内

■ スキンサイエンスの加速

- ・ ロート独自のフィットサイエンスを主力ブランドへ（肌ラボ、オバジ、メラノCC）
- ・ ヘアケア注力 Gyuttoブランド、PRORYブランドの拡充

幹細胞・天然物の培養液技術の応用

注力のヘアケア事業



肌ラボ



オバジ



メラノCC



Gyutto



PRORY

海外

- Hadalabo Tokyoの展開国拡大と販路拡大
- 東南アジアでのスキンケア習慣の増大によりハダラボ、メラノCC成長
- セルサン、50の恵などヘアケア事業の成長

成長事業のヘアケア



現在40カ国で展開中のHadalabo Tokyo

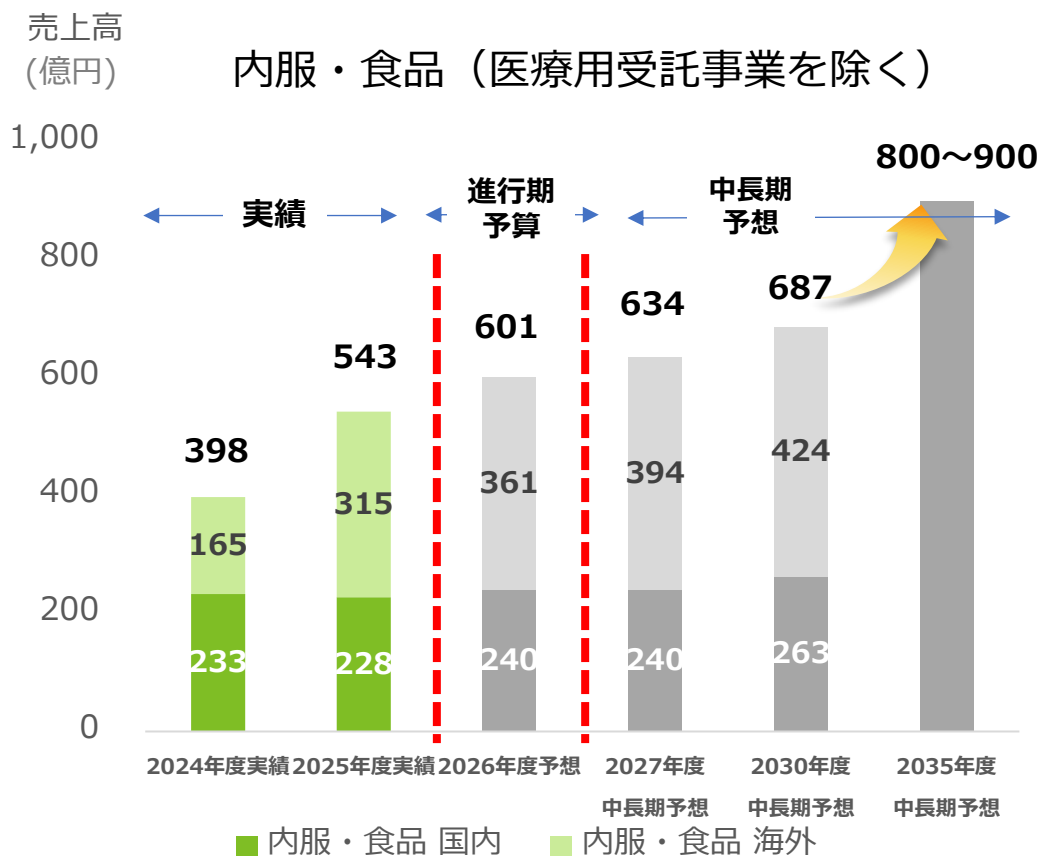


セルサンと香港トップシェアの50の恵

内服・食品事業について

国内の着実な売上増とEYS社の着実な伸長により、 想定通りの売上進捗状況

内服・食品



ロート V5



機能性表示成分
フリー体ルテイン



ユーヤンサン社



生薬・漢方素材

- Beauty Factor:
Epidermal Growth Factor (EGF) &
Mitogenic Stimulation Factor (MSF)
- ✓ Active glycoprotein
 - ✓ Water-soluble protein
 - ✓ Trace elements
 - ✓ Sialic acid

日本国内でのロートV5ブランドの確実な成長と、 アジアを中心としたEYS社とのシナジー強化

国内

- 時代のニーズにあった商品提案
 - ・ V5ブランド、100億円の売上を突破
 - ・ 現代のストレス性の胃痛への提案



海外

- アジアでの協業と新製品展開
- EYS社の展開国拡大：日本・アメリカ市場への挑戦

協業・新製品の展開



香港：50の恵ブランドでヘアケアサプリの展開

睡眠の質の向上

記憶力と認知能力の維持

地理的拡大

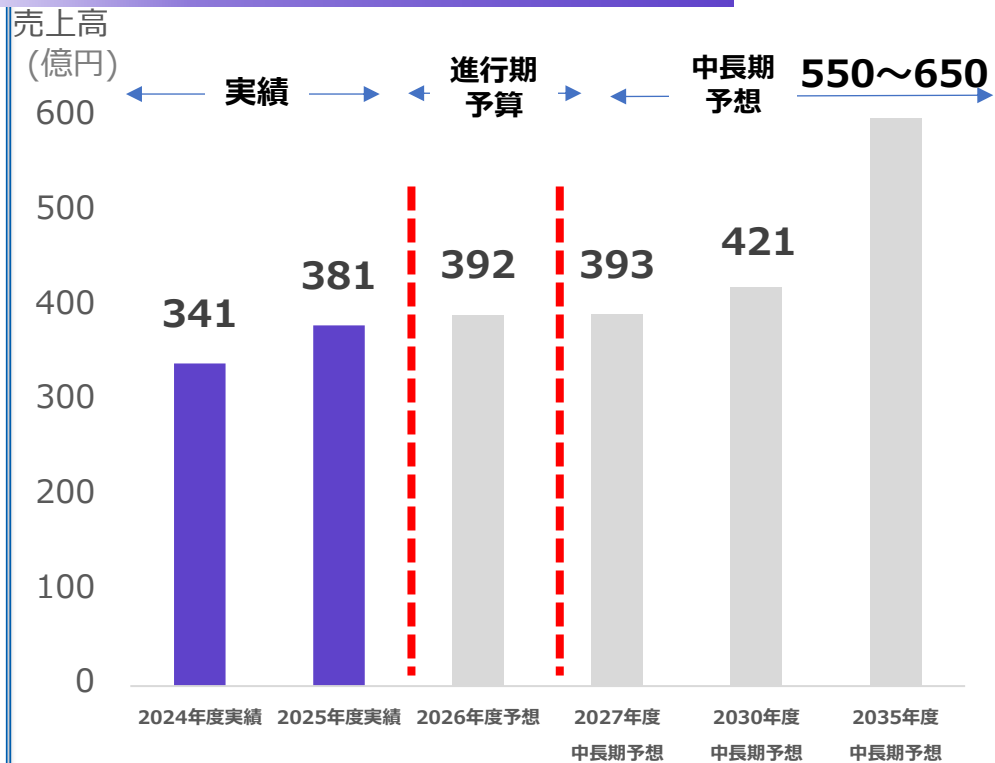


日本市場へ投入
左：ツバメの巣
中：チキンスープ
右：霊芝

メディカル事業について

国内ではロートニッテン、海外ではオフサルモス社が好調に推移
売上を確保しつつ、パイプラインの開発が順調に進行し、
最適な投資バランスの中で、中核事業へ成長中

メディカル事業



医療用点眼薬



再生医療/医療機器



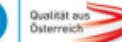
CDMO



Rohto ロートニッテン



SIGMA PHARM



MoNo



OPHTHALMOS

アンメットニーズを中心に、事業性・競争力のあるパイプラインに注力

眼科領域

■ ROH101: サイトメガロウイルス角膜炎の適応症を対象に2026年4月30日に薬事申請を完了

再生医療

■ 自社データおよび国内外の臨床試験データを踏まえ、事業性が高い疾患に注力

細胞腫	適応症	現在の開発方針
ヒト脂肪由来幹細胞	重症心不全	国内第2相試験が計画通り進行中
	腎疾患	効果が期待できる対象患者集団を特定し開発継続
	肝硬変、重症下肢虚血、肺線維症	これまでに得られた治験データを踏まえ、導出含め検討中
ヒト臍帯由来幹細胞	神経変性疾患	これまでに得られた治験データを踏まえ、導出含め検討中
自家軟骨細胞	外傷性軟骨欠損	薬事申請準備中
他家軟骨細胞	変形性軟骨欠損	第2相試験が進行中

アイケア、再生医療、CDMO、医療機器と各事業が確実に進行中 メディカル事業で得た知見をコア事業であるスキンケアを中心とした セルフケア事業へ広く応用

アイケア×再生医療

- 株式会社レイメイとの連携を強化し、同社開発中のiPS細胞由来の角膜上皮細胞シートの製造を受託

医療機器×再生医療

- オートロジェルシステム
2025年1月に難治性創傷に対する新たな治療キットとして発売を開始

 AutoloGel
SYSTEM



再生医療×CDMO

- ヒューマンライフコード株式会社との連携
第Ⅲ相臨床試験に向けた治験製品製造受託

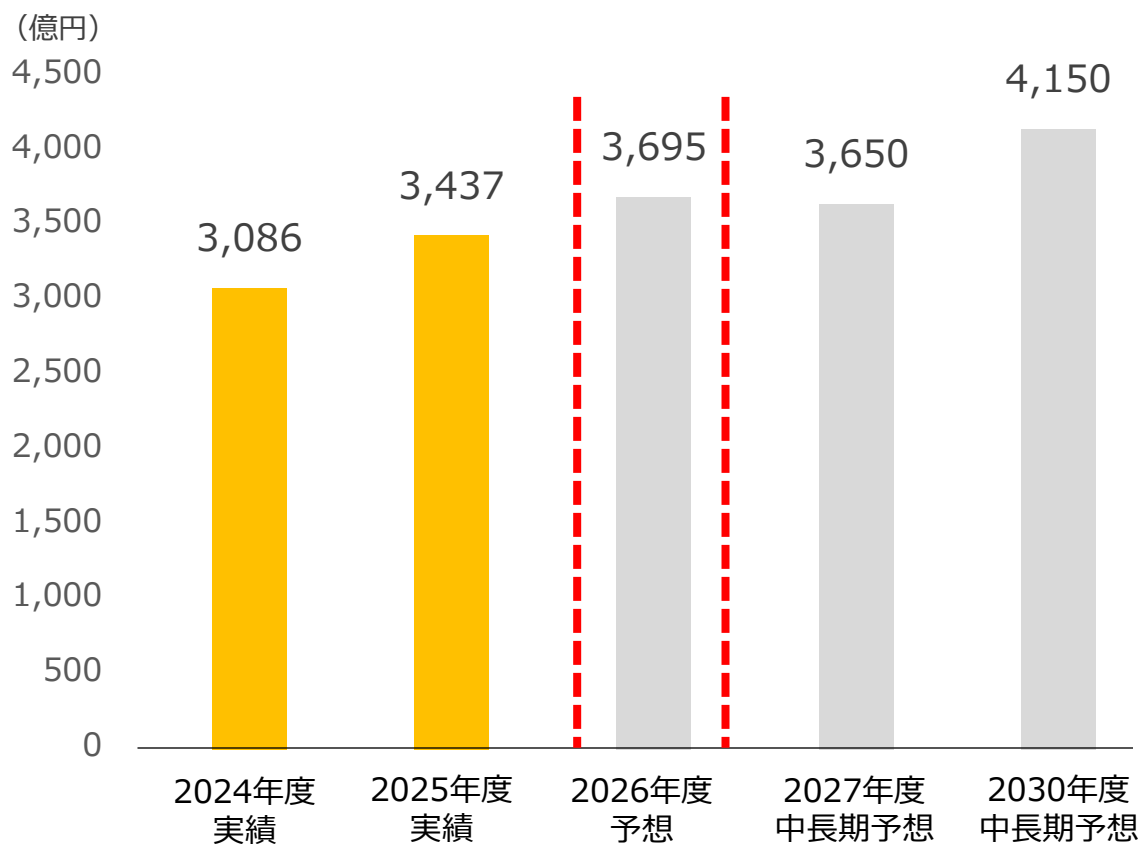
医療機器×コンシューマ事業

- 過活動膀胱治療用ウェアラブル医療機器
2026年6月より中国市場で発売へ

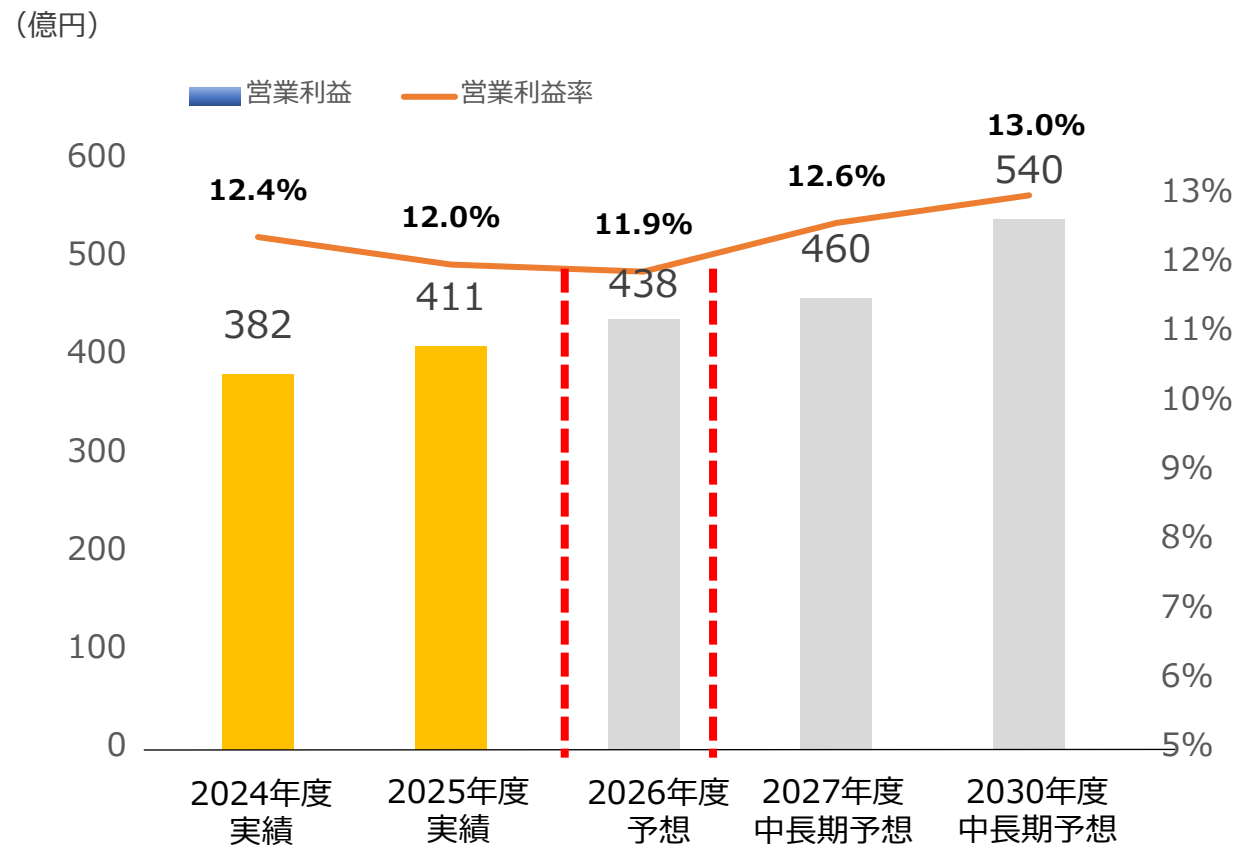


2027年度売上予想を1年前倒しで到達予定 2030年度売上高4,150億円、営業利益540億円に向かって順調に進捗中

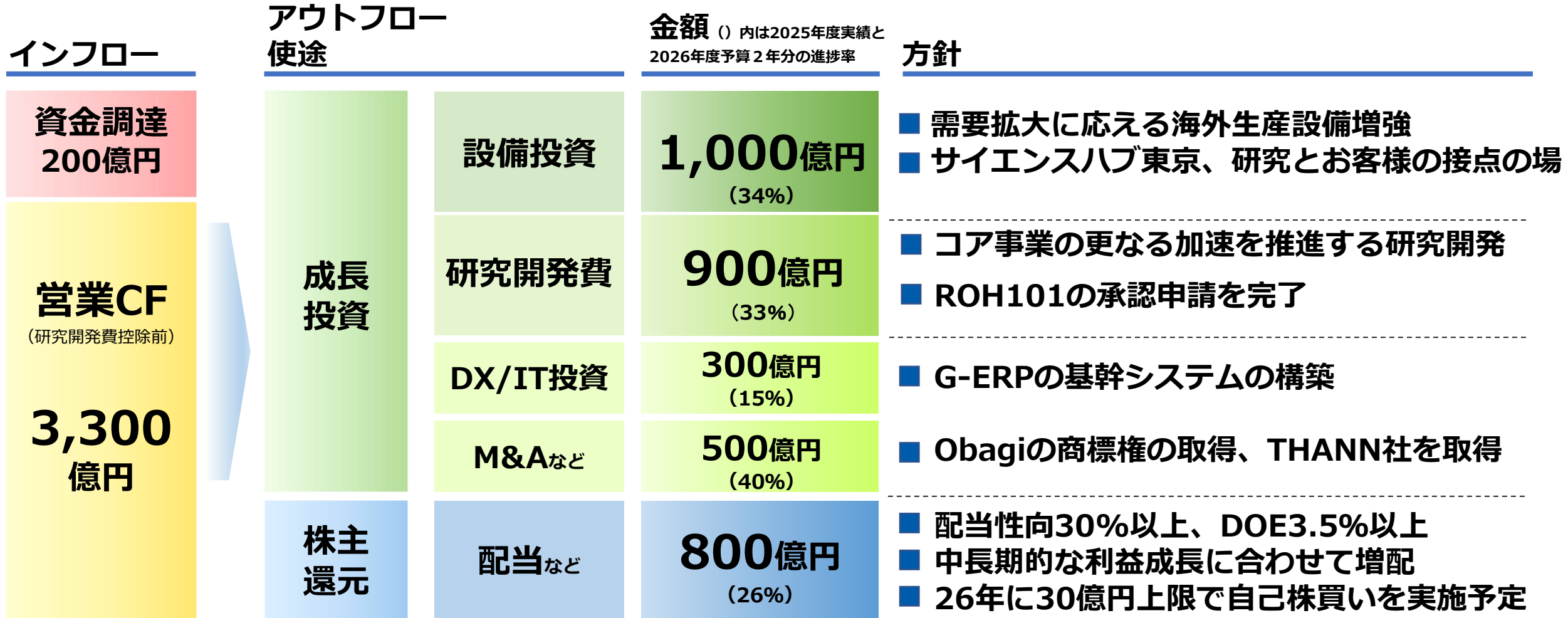
売上高



営業利益



資本政策についても当初予定に沿って進行中



РОНТО

The logo consists of the word 'РОНТО' in a bold, blue, sans-serif font. A thick red curved line underlines the text, starting from the bottom of the 'Р' and ending at the bottom of the 'О'.

Appendix

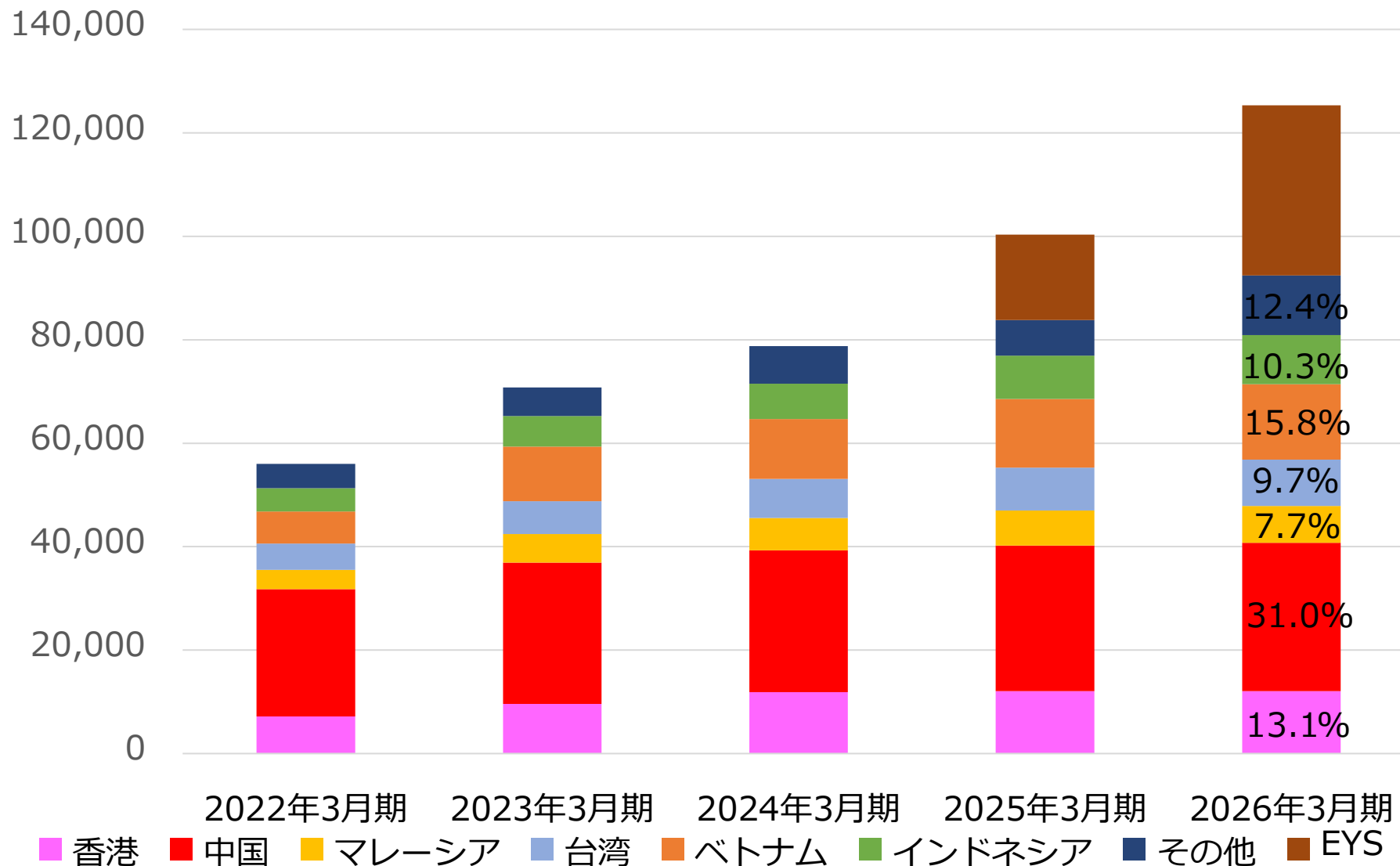
各国の売上高成長率（現地通貨ベース）

2024年（前年比）

2025年（前年比）

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
〇ート単体	+10%台前半	+1桁前半	+1桁後半	▲1桁前半	+1桁半ば	+1桁前半	+1桁半ば	▲1桁半ば	+1桁後半	+1桁前半
中国	+1桁半ば	▲1桁半ば	▲1桁前半	▲1桁後半	▲1桁半ば	▲1桁前半	+1桁前半	+1桁半ば	+1桁前半	+1桁前半
香港	+1桁前半	▲10%台前半	▲1桁半ば	▲1桁前半	▲1桁半ば	+1桁前半	+1桁半ば	▲1桁前半	+1桁半ば	+1桁前半
台湾	+1桁半ば	+1桁後半	+1桁半ば	+1桁後半	+1桁半ば	+10%台前半	+1桁前半	+1桁半ば	+1桁前半	+1桁半ば
ベトナム	+1桁後半	+20%台前半	+20%台前半	▲1桁前半	+10%台前半	+10%台前半	+10%台前半	+10%台半ば	+10%台半ば	+10%台前半
インドネシア	+30%台半ば	+1桁後半	+10%台半ば	+10%台後半	+10%台後半	+30%台半ば	+20%台半ば	+1桁半ば	+10%台後半	+20%台前半

アジアの国別売上構成比（EYS除く）



※2025年まではマレーシアにシンガポールを含む

※売上比率の算出にEYSの売上を除く

2025年通期 国内主要ブランド別売上



ドラッグストア基礎化粧品ブランドNo. 1 ※



前期比: +5.9%
構成比: 13.7%



New



前期比: ▲8.7%
(4Qのみ前期比+16.2%)
構成比: 5.4%

2/10「オバジCセラム シリーズ」リニューアル



リップクリーム

前期比: +16.1%
構成比: 6.3%



※インテージSRI+[Weekly]
対象カテゴリー: 基礎化粧品計 (4カテゴリー)
累計期間: 2025年4月~2026年3月、個数ベース

日やけ止め



New



前期比: ▲7.0%
(4Qのみ前期比+4.9%)
構成比: 10.5%

3/9全国発売



New

New



前期比: ▲2.7%
構成比: 5.8%

2/2リニューアル

40



前期比: +12.6%
構成比: 7.3%



※前期比: 売上の増減率 (2025年度Q1-Q4 vs 2024年度Q1-Q4)
※構成比: ロート単体に占める各ブランドの売上比

目薬

前期比: +15.3%
構成比: 17.6%



前期比: +35.2%
構成比: 17.1%



日やけ止め

前期比: ▲11.8%
構成比: 8.8%



Selsun

前期比: +23.1%
構成比: 7.4%



男性化粧品



前期比: ▲7.7%
構成比: 6.1%



Acnes



前期比: +23.6%
構成比: 10.3%



リップクリーム



前期比: +3.8%
構成比: 14.9%



50 MEGUMI



前期比: +8.1%
構成比: 3.9%

■ 医療用点眼薬

開発コード	対象疾患	開発段階
ROH-101	サイトメガロウイルス角膜炎	2026年4月30日承認申請
	単純ヘルペスウイルス角膜炎	P3
ROH-201	春季カタル	P2
	ドライアイ	P2
ROH-202	眼科用治療剤	P1
ROH-001	近視進行抑制	P2

■ 再生医療等製品

細胞種	開発コード	対象疾患	開発段階
ヒト脂肪由来幹細胞	ADR-002K	重症心不全	P2
		腎疾患	P1/2
		肝硬変	導出含め検討中
		重症下肢虚血	導出含め検討中
		肺線維症	導出含め検討中
ヒト臍帯由来幹細胞	UDI-001	神経変性疾患	導出含め検討中
自家軟骨細胞	OCI	外傷性軟骨欠損	申請準備中
他家軟骨細胞	TLC-01	変形性膝関節症	P2

広告・研究開発・資本的支出・減価償却費の推移



広告費・研究開発費

(百万円)

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度予想
広告費	37,977	39,224	40,942	43,300
売上比	14.0%	12.7%	11.9%	11.7%
研究開発費	13,461	14,995	13,861	15,900
売上比	5.0%	4.9%	4.0%	4.3%

資本的支出・減価償却費・のれん償却費

(百万円)

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度予想
資本的支出	10,100	43,422	29,918	21,800
減価償却費	8,251	12,096	15,329	16,600
のれん償却額	436	1,205	2,048	2,100

※資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の合計額

※減価償却費はのれん償却額を除く

※2024年度の資本的支出は2025年度Q1において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映した遡及修正後の数値で算出

為替レートの推移

為替 (USドル/円)

	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	増減額	増減率(%)	2026年度 予想
期中平均レート	143.31	152.61	149.99	-2.62	△ 1.72	155.00
期末レート	150.67	149.67	155.81	6.14	4.10	-

為替 (中国元/円)

	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	増減額	増減率(%)	2026年度 予想
期中平均レート	19.82	21.02	20.82	-0.20	△ 0.95	22.00
期末レート	19.93	21.67	22.36	0.69	3.18	-

一口単体 損益



(百万円)	2024年度 Q1-Q4		2025年度 Q1-Q4		
	金額	売上比	金額	売上比	対前年(%)
売上高	136,557	100.0	140,843	100.0	3.1
売上総利益	79,671	58.3	82,222	58.4	3.2
販管費	59,644	43.7	61,715	43.8	3.5
広告費	17,401	12.7	18,275	13.0	5.0
研究開発費	11,818	8.7	10,969	7.8	▲7.2
その他	30,423	22.3	32,470	23.1	6.7
営業利益	20,026	14.7	20,506	14.6	2.4
経常利益	22,679	16.6	32,360	23.0	42.7
当期純利益	18,860	13.8	24,883	17.7	31.9

- 本資料は、投資判断の参考として、弊社の現状を理解して頂くために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、作成時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料には、医薬品等（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 投資を行う際は、ご自身の判断において行っていただきますようお願いいたします。
- 本資料を利用することにより生じた、いかなるトラブルおよび損失、損害に対して、弊社は一切責任を負いません。

РОНТО

The logo consists of the word 'РОНТО' in a bold, blue, sans-serif font. A thick red curved line underlines the text, starting from the bottom of the 'Р' and ending at the bottom of the 'О'.